

第2期石川県ニホンザル管理計画（案）の概要

1 計画策定の目的及び背景

昭和50年代後半から主に白山麓で農作物被害が多発し、その被害対策が要請されている。サルによる農作物被害や生活環境被害等の防止、地域個体群の安定的維持のため、サルと人との適切な関係の構築を推進することを目的とする。

2 鳥獣の種類 ニホンザル

3 計画期間 平成29年10月1日～平成34年3月31日

4 管理の地域 小松市、白山市、金沢市

5 管理の目標

ニホンザルによる農作物被害や生活環境被害等の軽減・解消、地域個体群の安定的維持の観点から、加害群の状況に応じた加害個体や群れの捕獲を進めるとともに、効果的な被害防除対策の徹底を図り、加害群を半減させ、人とサルとの適切な関係を構築すること

※加害群とは、群れ区分のうち、調整群B及び排除群とする。

6 目標を達成するための施策

(1) 群れ毎に、加害レベルに応じた管理を行う。

・保全群(14群605頭)

人との関わりのない良好な群れ ⇒ 保護

・調整群A(7群285頭)

季節移動し、限られた期間に被害を与える群れ ⇒ 追い払い

・調整群B(11群600頭)

集落近くに定着し、長期に被害を与える群れ ⇒ 加害個体等の捕獲

・排除群

通年、田畑や集落に出没し、被害を与える群れ ⇒ 群れの捕獲

(2) 被害防除対策、生息環境管理の徹底。

保護地域：現行鳥獣保護区を準用。野生生物生息地として厳正に保護
緩衝地域：このうち農地集落地に近い部分は里山林等の整備により被害等を抑制
排除地域：集落地及びその周辺農地。野生動物を排除し、円滑な人間活動を確保

7 その他

(1) モニタリング（効果判定）調査とフィードバックによる計画の見直し

効果測定、経過追跡のためモニタリングを行い、その結果をフィードバックして、検討を行い、計画の見直しを行う。

ア 調査内容 個体群動態調査：個体数、分布域、繁殖状況、栄養状態
被害調査：被害の種類、量、季節

イ フィードバック方式による計画の見直し

個体数調整（防除）実施→モニタリング調査→調査結果検討評価
→計画の見直し→計画策定→次期計画実施

(2) 普及啓発・研修

対象動物の実態と計画の必要性を広く普及啓発するとともに、計画の円滑な実施と計画遂行に必要な技能の向上を図るための研修を実施する。